

令和7年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第1回）

議事概要

1 日時：令和7年8月28日（木）9：15～12：12

2 場所：食品安全委員会中会議室（Web 会議システムを利用）

3 出席者（8名）五十音順

荒川 宜親 藤田医科大学医学部客員教授

磯 博康 国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局
グローバルヘルス政策研究センター センター長

小澤 正吾 元・岩手医科大学教授

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当

◎眞鍋 昇 東京大学名誉教授

宮崎 茂 一般財団法人生物科学安全研究所参与

横田恵理子 慶應義塾大学薬学部准教授

四方田千佳子 国立医薬品食品衛生研究所客員研究員

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から山本委員長ほか3名が、事務局から中事務局長ほか8名が出席した。

4 議事概要

（1）令和6年度終了研究課題の事後評価（ヒアリング審査）

○ 令和6年度に終了した研究課題（9課題）のうち5課題の成果について事後評価を行うため、各課題の主任研究者に対しヒアリング審査を実施した。

<事後評価対象課題>

- ・食品関連化学物質のリスク評価におけるリードアクロス手法の適用と信頼性評価に関する研究
- ・国際動向に鑑みた食品中の残留農薬に係る発達神経毒性学分野のリスク評価手法に関する研究
- ・アレルギー誘発性を有する植物に由来するタンパク質の網羅的消化性評価
- ・食品に含まれるトランス脂肪酸の摂取量推計に係る研究
- ・最新のベンチマーク手法をリスク評価に実装するための課題に関する研究

－以上－

（注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。）